

LRT（ライトレールトランジット）

技術概要

“LRT〔ライトレールトランジット〕”は、軽快電車、ライトレール、次世代路面電車等とも呼ばれている、新型の公共交通システムである。従来の路面電車に比べて高速性に優れており、都心部では駅間の短い低速運行で、車や歩行者と共存し、郊外部では郊外電車なみの50～70km/hで走行することができる。これに加えて低騒音・低振動、輸送力（時間当たり1.5万人の旅客輸送が可能）に優れている等の特徴がある。



欧米のLRTの写真（フランス/ストラスブール）

出典：国土交通省HP（<http://www.mlit.go.jp/hakusyo/transport/heisei10/index131/p7.html>）

新都市での導入効果について

新都市では、主にクラスター間の交通需要に対応する交通手段として導入することにより、低環境負荷型交通システムの形成に寄与する。

導入における課題（対応策）

都市規模が小さい段階（建設初期段階）では、採算性が確保しにくい。

ある程度新都市が発展する段階までは、個別のクリーン輸送機関（エコカー等）も活用しながら、段階的にLRT等を導入していく。

その他（導入状況・技術開発等動向・将来見込み等）

国内でも、個別に導入が進められている段階である。

注：各種資料により(株)エックス都市研究所作成